

強者の戦略

2025 年度 京大地理 第3問〔問題編〕

今回は 2025 年度の京都大学の第3問を解説したいと思います。貿易を中心とした出題です。難易度的には標準だと思います。書きにくい問題も一部ありますが、ぜひチャレンジしてみてください。

Ⅲ 地理探究問題

次の GDP と輸出に関する表(2021 年)を見て、問(1)～(6)に答えよ。なお、**A**～**F** 国はアメリカ、ケニア、サウジアラビア、シンガポール、中国、日本のいずれかである。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については、句読点も字数に含めよ。

国	A	B	C	D	E	F
財・サービス 輸出額の GDP に対す る比	11 %	20 %	18 %	11 %	33 %	184 %
輸出先第 1 位	カナダ	A	B	ウガンダ	アラブ首長 国連邦	B
輸出先第 2 位	メキシコ	香港	A	オランダ	B	香港
輸出先第 3 位	B	C	韓国	A	インド	マレーシア
最大輸出品目	石油製品	通信機器	乗用車	X	原油	集積回路

資料：World Bank Database (<https://wits.worldbank.org/>) など

強者の戦略

問

- (1) 1970 年代後半に、**A**国と**C**国の間の貿易において生じた問題を何というか、解答欄①に答えよ。また、その問題に対処するため、**A**国では**C**国の企業によるどのような生産が見られるようになったか、解答欄②に答えよ。
- (2) 2000 年代以降、**B**国や発展途上国からの輸出が増加したのは、産業および貿易の構造が国際的にどのように変化したからか、50 字以内で述べよ。
- (3) **D**国の首都と港湾都市などを結ぶ鉄道は、**A**～**F**国のなかのある国が推進する政策の一環として 2017 年に建設された。その国はいずれか、解答欄①に記号で答えよ。また、解答欄②にその政策名を答えよ。
- (4) 表中の**X**にあてはまる輸出品目を解答欄①に答えよ。**D**国において、主要な輸出品目が**X**になっていることには、どのような歴史的背景が影響しているか、30 字以内で解答欄②に述べよ。
- (5) **E**国では、同国に特徴的な経済構造から脱却するために、どのような政策がとられているか、答えよ。
- (6) **F**国にあてはまる国名を解答欄①に答えよ。**F**国には、一時的に製品を輸入・保管して別の国・地域へ輸出する機能を持つ港湾がある。このような港湾を何というか、解答欄②に答えよ。また、現代において同様の貿易が大規模に行われている港湾を持つ国名または都市名を**A**～**E**からひとつ選び、解答欄③に記号で答えよ。

A：アテネ **I**：パラオ **ウ**：モナコ **E**：ロッテルダム

強者の戦略

2025 年度 京大地理 第3問〔解答解説編〕

【解答】

- (1) ①貿易摩擦 ②A国での現地生産
- (2) 先進国企業の生産拠点移転が進み国際分業体制が築かれ、労働集約型産品が盛んに輸出されるようになった。(49 字)
- (3) ①B ②一帯一路政策
- (4) ①茶 ②旧宗主国イギリスが大農園で茶の生産をさせたため。(24 字)
- (5) 石油化学などの製造業や観光産業、ICT 産業を推進し、経済の多角化を進める。
- (6) ①シンガポール ②中継貿易港 ③E

【解説】

- (1)まずはA～Fの国名の当てはめといきましょう。財・サービス輸出額の GDP に対する比が184%となっているFは、輸出依存度が高いことで有名なシンガポールとなります。あとは、輸出先の国の名前で判定できるでしょう。カナダ・メキシコが上位を占めるAは距離的に近接しているアメリカ(USMCAの域内貿易率の高さから類推してもよし)、香港が第2位となっているBは中国、韓国が第3位となっているCが日本、ウガンダが1位となっているDがケニア、アラブ首長国が1位となっているEがサウジアラビアとなります。A国とC国の1970年代後半の貿易における問題は日米自動車貿易摩擦です。解答としては貿易摩擦だけで良いでしょう。解消策は、日本による自動車の輸出自主規制とアメリカに生産拠点を移す現地生産政策です。A～Fの国名の当てはめと①②を解いているときは気分がよいでしょうね。第2問のどこちなさを払拭するほどスムーズに筆が動くことでしょう。
- (2)調子よく解答用紙を埋め始めたのもつかの間、再びやっかいな問題に出会ってしまいます。この問題に50字は少なすぎます。要領よくまとめる能力が求められているといえるのだろうか……。と、疑問は尽きないですが、落ち着いて考えてみましょう。B国すなわち中国、及び発展途上国からの輸出が2000年代以降増加しましたが、どういう背景でどういう産品を輸出し始めたのかを考えます。中国や東南アジア諸国は安価な労働力が豊富であったため、日本やアメリカ合衆国などの先進国企業が生産拠点を移転させ、繊維や電気機械などの労働集約型産品が、途上国から先進国へ盛んに輸出されるようになりました。こうして、高い技術が必要な部門は自国で稼働させ、簡単な組み立て工程は途上国に委託する、国際分業体制が徐々に整っていきました。すると、もともと工業力の低かった途上国は加工しない一次産品(農産資源、鉱産資源)を先進国に輸出し、先進国は技術力の必要な工業製品を途上国に輸出するという垂直貿易が主流でしたが、近年では途上国も先進国も製品を輸出・輸入しあう水平貿易にシフトしてきました。これらの内容が、「産業および貿易構造の国際的な変化」になります。いやー、さすがにこれを50字で書くのは無理だと思いますよ。恐らく、「国際分業体制」の記載が一番求めら

強者の戦略

れていると思うので、そこを中心に書ければ良いと思います。

- (3)ケニアの首都はナイロビ、港湾都市はモンバサです。鉄道を他国に建設することを行える国は技術力の高い国と考えられるため、**A**のアメリカ、**B**の中国、**C**の日本のどれかになるでしょう。ただ、何かの政策の一環でケニアに鉄道を建設するとなれば、中国の「一帯一路政策」しかありえません。
- (4)ケニアの輸出品目1位を覚えている受験生はあまり多くはないと思いますが、頭に浮かぶのは「茶」しかないと思います。『データブック オブ・ザ・ワールド』では「紅茶」と書かれています。まあ、どちらでも良いでしょう。「どのような歴史的背景」かと言われれば、イギリスが紅茶好きなので、植民地支配下にあったケニアに茶栽培を導入し、今に至っても、主要な産業として残っている、ということですね。解答の中に大農園やプランテーションなどを入れておけば、なお良いと思います。蛇足ですが、ケニアの辺りは通称ホワイトハイランドと呼ばれています。ケニアは赤道直下でありながら冷涼な標高1500～2500mの高地を中心部に持っており、白人でも住みやすい環境が存在していました。
- (5)この問題も、ちょっと揺さぶりかけてきてますよね～。定番はアラブ首長国連邦だと思いますよ、出題するならね。ドバイのイメージはみんなあると思いますので、原油がなくても生きていけるように、金融機能を高めた都市の開発、ブルジュハリファ・パームジュメイラに代表される観光開発、アルミニウムなどの工業開発など、まあまあ書きやすいと思います。ただ、本問はサウジアラビアです。恐らく、アラブ首長国連邦で行われていることを書いておけば、ちゃんと点数は来ると思います。ただ、「多角化」というキーワードはぜひ入れるようにしてください。問題文の「同国に特徴的な経済構造」はモノカルチャー経済を意味しており、ここからの脱却は「1つだけでなくたくさん手がける」意味での「多角化」が求められています。

最後に、サウジアラビアの「ビジョン2030」から抜粋しておきます。

観光業

製造部門では、再生可能エネルギーおよび産業機器部門における国内化（国内生産および雇用の促進）の推進を目標にしています。旅行・レジャー部門では、**世界最高水準となる観光名所の開設、観光ビザ申請プロセスの改善、史跡や遺産の開発および整備**を行う予定です。技術部門については、**投資規模を拡大させてデジタル経済の確立**を目指します。また鉱業部門では、国内探鉱事業の活性化を図り、そこから利益が生まれるよう尽力します。**経済の多角化実現**とともに、石油・ガス部門における国内化にも引き続き取り組んでいきます。エネルギーに特化した新都市の建設、ガス生産量の倍増と国営ガス流通ネットワークの設立などが主な施策です。また**石油と石油化学製品の生産大国としてのリーダーシップと知識を最大限に活用し、これに関連する有望な部門の開発投資に力を入れていきます。**

ICT産業

製造業

強者の戦略

- (6)シンガポールが中継貿易国であることは非常に有名な内容であり、オランダもそうであることはみなさん覚えていることでしょう。すぐに**Ⅱ**のロッテルダムを選べると思います。それはそうとして、なぜパラオが選択肢に出てくるのか！？謎のパラオ。京大は、ほぼ誰も選ばないであろう選択肢を用意し、受験の後に選択した人の割合とか調べて、何を思うんでしょうね。ちなみに、新日本プロレス創設者であるアントニオ猪木氏は生前パラオに造詣が深く、パラオの族長から贈呈された島があり、通称「イノキアイランド」と呼ばれています。まさか出題者がアントニオ猪木ファンであったのか・・・。
- 京大の遊び心が発露した問題を挙げておきます。

アムール川はユーラシア大陸東岸の北緯 **a** 度付近を東に流れる大河であり、

b 海に注いでいる。中流域では、流路の大半が **A・B** 2ヶ国の国境となっている。

右岸は **A** 国の **c** 地方と呼ばれている地域であり、トウモロコシや大豆、**d** の生産を中心とした畑作農業と、**(f)** この地域で産出する豊かな鉱産資源 を基礎とした工業が盛んである。

- (3) 本文中の **c** 地方に居住している主要な少数民族を、次の(ア)～(オ)から1つ選んで記号で答えよ。

(ア) ウイグル族 (イ) チベット族 (ウ) カザフ族 (エ) ハニ族 (オ) 朝鮮族
(京大 2007 年)

えっ！？

ここまで読んでいただいた皆さん、お疲れ様でした。次回は恐らく、2025年の京大第4問の解説でお会いいたしましょう。